

星の信仰、あるいは光の心理学



茨木 孝雄

(元) 杉並区立科学教育センター (元) 国立天文台天文情報センター
2021/02/27 第3回 考古天文学会議 於：Zoom Meeting

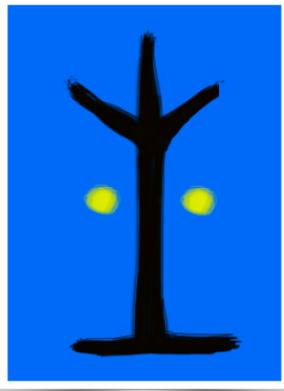
甲骨文字の『星』

甲骨文

[首頁](#)
[簡介](#)
[收錄現況](#)
[凡例](#)
[引書簡稱表](#)
[使用說明](#)
[參考書目](#)
[聯絡信箱](#)

簡易查詢 **進階查詢**

字號
 字形
 頁碼
 合集號
 舊著錄
 類組



836 星 (星、晶)

共搜尋到16字／1頁，每頁20字，字形大小：36點

 乙1877 合15637	 乙6386反 合11506反 賓組	 乙6664 合11497 賓組	 乙6672 合11498 賓組	 拾14.6 合11491 賓組
 前7.26.3 合11501 賓組	 掇2.197 合15625 賓組	 存下147 合40207	 存下148 合11490 賓組	 簠雜120 合11502 賓組
 金407 合40205	 明1534 合11492	 七B43 合11496 賓組	 庫598 合40206	 京都700 合11488 賓組
 後2.9.1 合11503 賓組				

(臺灣大學中國文學系、中央研究院歷史語言研究所、資訊科學研究所、數位文化中心 共同開發) <https://xiaoxue.iis.sinica.edu.tw/jiaguwen?kaiOrder=1273&ZiOrder=836>

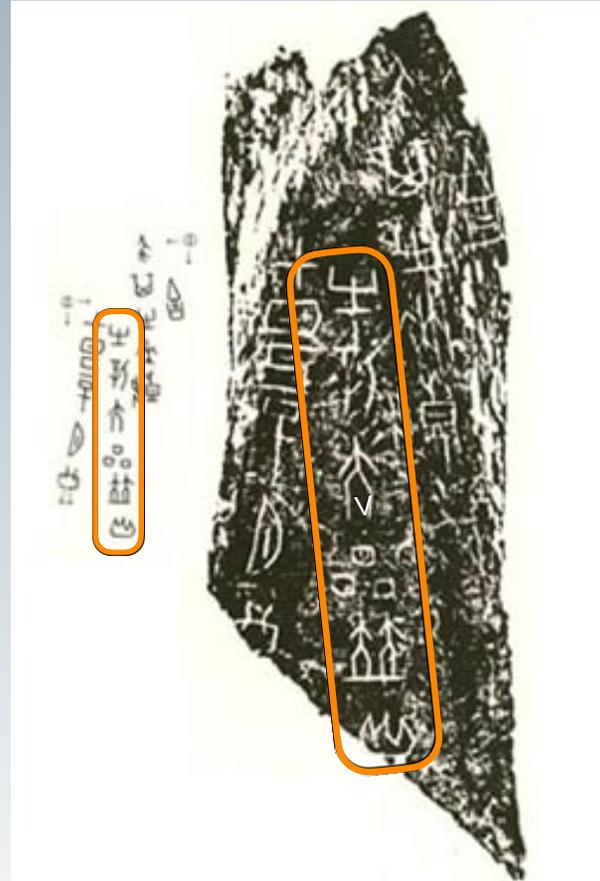
對世界最早超新星甲骨殘片「新大星併火」 相關錯誤的考證與破解

2016-03-15 由 甲骨文 發表于文化

原文網址：<https://kknews.cc/culture/az6836.html>



歷史上最も初期の新星爆発の記録が、殷時代（およそ3300年前）の甲骨片から発見
上写真の発表者は、Dr.Samuel Chao Chung Ting（丁肇中）



有新大星並火

← アンタレス (α Sco)

住吉大社



住吉大社御由緒

御祭神

第一本宮

底筒男命

そこのつつのおのみこと
なかつつのおのみこと

第二本宮

中筒男命

うわつつのおのみこと

第三本宮

表筒男命

おきなをかたらしひめのみこと

第四本宮

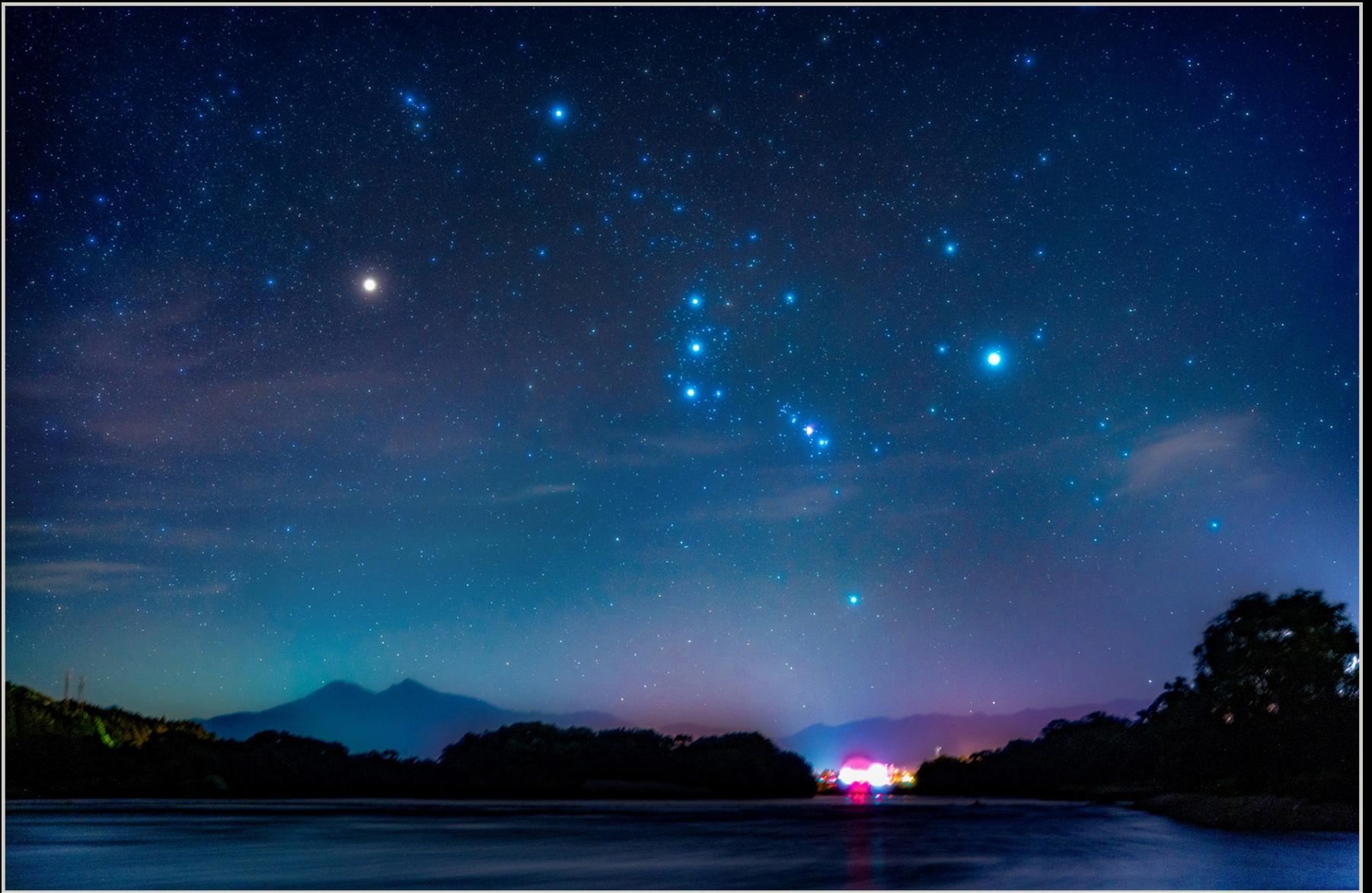
息長足姫命

じんぐうこほう
神功皇后

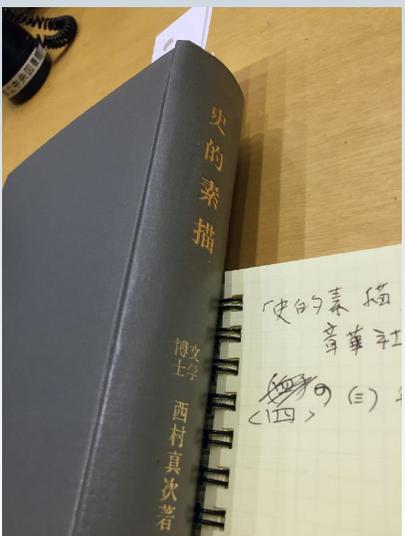
御由緒

底筒男命 中筒男命 表筒男命の三神を総称して住吉大神と申し上げます 住吉大神の「吾が和魂をば宜しく大津湊中倉長峽に居くべし 便ち困りて往來ふ船を看む」との御神託により 神功皇后がこの地に御鎮祭になりましたのが 皇后の撰政十一年辛卯の歳（西暦二一一年）と伝えられています

〔撮影〕 沼澤茂美氏



ツツノヲ 筒男三神は星神



【筒(つつ)を『星』とする説】

・吉田東伍『倒叙日本史』 大正二年(1913)

…「ゆふづつ」のへつつくつつの意で星。

古くは、平田篤胤が、つつを『星』とした。

・西村真次『史的素描』 昭和十年(1935)

「筒男三神はオリオン座の三つ星ですよ、

漁師は航海の目安にしています。」と、

理学士の本田親二さんに言われた。

・野尻抱影『星と東西文学』(研究社)

昭和十五年(1940)

・野尻抱影『星の神話伝説集成』

筒男三神は、オリオン座三つ星(カラスキ星)

で航海の守護神。 昭和二十年(1955)

・倉野憲司『古事記祝詞』(日本古典文学大系)

昭和二十三年(1958)

…野尻説と同じ解釈の補注を書き、

大野普も賛同。同説を大和岩雄が支持、補強した。

『日本の神々』(谷川健一・編) 1984

……

古代國語『つゝ』は星を意味してゐる。現に吾々は『夕つつ』といふ一つのサアヴァイヴァルを有している。夕筒は誰れしも知るところでヴィナスである。此のヴィナスは始め東方に現はれた時に、宵の明星と云はれ、暁に西天に歿する時には暁の明星と呼ばれる。：昔の人には此の星が著るしい天界の現象であったに相違ない。頼山陽の天草洋の詩に『大白當レ船明似レ月』とあるのも、即ち此のヴィナスのことで、ヴィナスと船とは何處かに離れ難いコネクションがあるのである。

そこで吾輩はヴィナスこそは住吉大神である。上、中、底の三つに此の一つの星を昔の人が考へたのだと解釋した。いつかその事を松岡海軍大佐に話すと、『君の航海術は机の上の航海術である。吾々の海の上の航海術では、東から西に韋駄天走りをするヴィナスは航海の目標にならない。航海の目標なるものはfixed star でなければならぬ』と云はれた。『然らば貴方は何うお考へです。

何か上、中、底で現はすやうな星がありませんか』と反問すると、『一寸思ひ浮ばない、考へておきませう』といふことになつて別かれた。

北極にかちりついて動くことを知らない極星は航海の目標として一番よくはあるが、それを上、中、底の三つに分けて考へる事は出来ない。何が住吉大神として祀られた神話上の本體であるかと、わが輩はその後も相變らず考を運らしてゐた。

或る冬の寒い晩であつた。ストーヴを圍んで天體の現象について理學士の本田親二さんと語つた。話はつい船の事に落ちて、上筒男、中筒男、底筒男のことに及んだ。吾輩がヴィナス説を持ち出すと、『それは不可ませんよ。それは屹度三つ星の事です。三つ星はオライオン星座にある星で、よく獵師はそれを航海の目標にしてゐます。』と云はれた。

天文に深い興味と造詣とを持つた本田さんの一言は吾輩をして真に舊説を捨て、新説を採らしめた。即ち神話としての上筒男、中筒男、底筒男は、その發見の起源が何うあらうと、航海の經驗から吾々の祖先が目標として最も適當なものを選んだオライオン星座のベルトに相違ないといふ結論に到達した。

神話は空虚な理屈からのみは生まれぬ。あらゆる未開人が自然の現象には注意深い如く、吾々の祖先もまた自然の現象には注意深かつた。夜間航海に従事する者に取つては、天體の現象は大切な針路を定める目標であつた。顯著な帯形のオライオン星座の三聯星が、古人に航海神として崇められるやうになつたことは少しも怪しむに足らない。

八幡縁起絵巻の謎

『八幡縁起絵巻』第三図（室町期）

神功皇后の新羅征伐に際し、

海中から現れた黒牛が

皇后を襲おうとしたとき、

住吉大神（筒男命）が塩筒老翁シオツチノオジ

の姿で現れて、皇后を救う。

その構図が、十七、八世紀の西洋

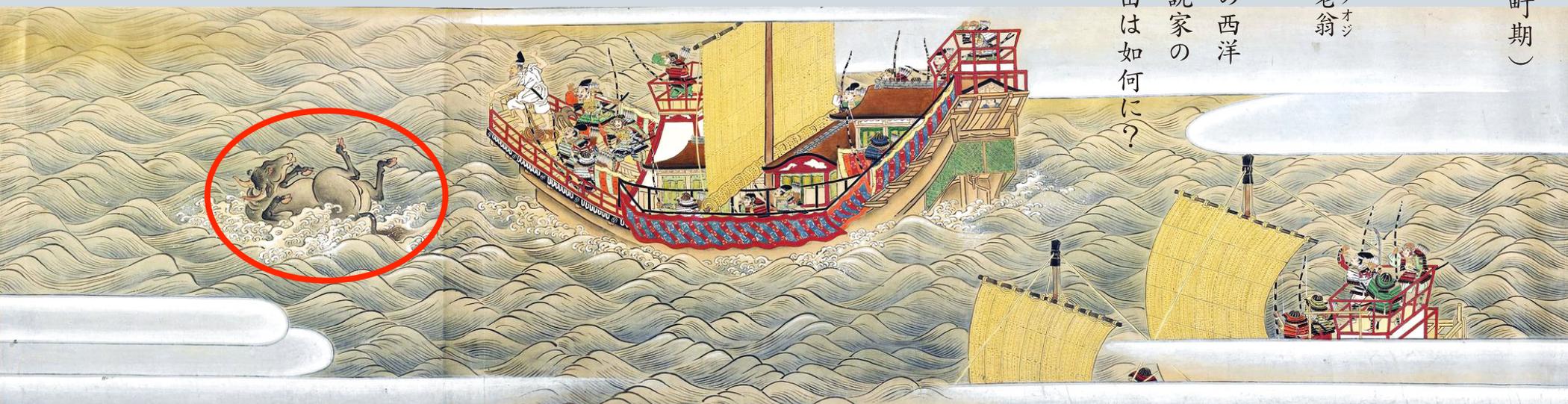
星図に酷似する、と科学解説家の

草下英明が気づく。その理由は如何に？



月岡芳年作 『神功皇后』

敵火山口神社（奈良県橿原市）所蔵「神功皇后縁起絵巻」





故・草下英明氏『星の文学と美術』より

ASIAN ART MUSEUM OF SAN FRANCISCO
AVERY BRUNDAGE COLLECTION
GOLDEN GATE PARK
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA 94118

NOT TO BE REPRODUCED
WITHOUT PERMISSION OF THE
ASIAN ART MUSEUM OF SAN FRANCISCO
GOLDEN GATE PARK
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA 94118

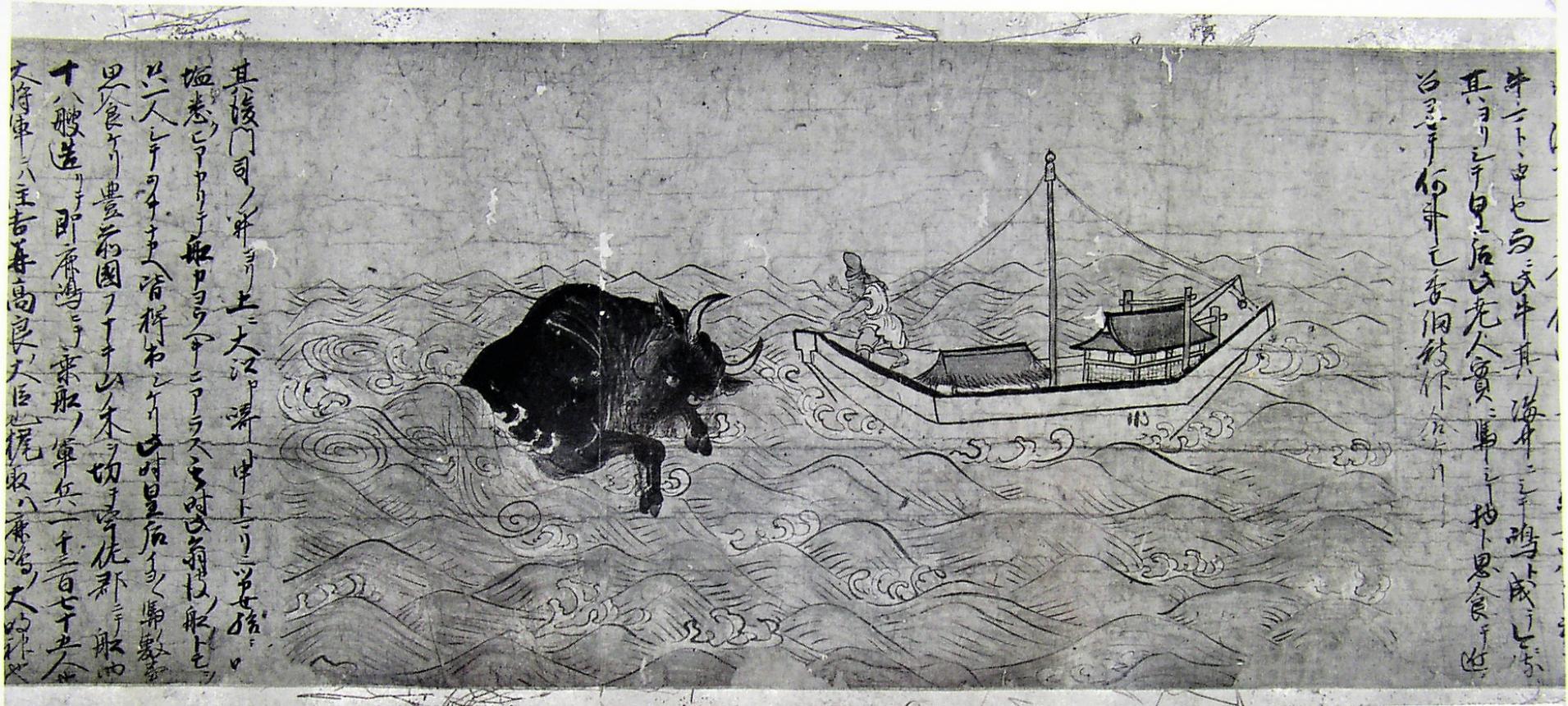
八幡縁起絵巻

(サンフランシスコ アジア美術館 アベリー・ブランデー・コレクション)



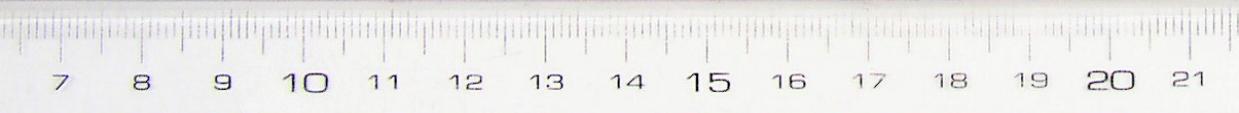
フラムステード大球図譜 (オリオン座とおうし座)
裏返し

(John Flamsteed Atlas coelestis, Londra Edizione del 1753)



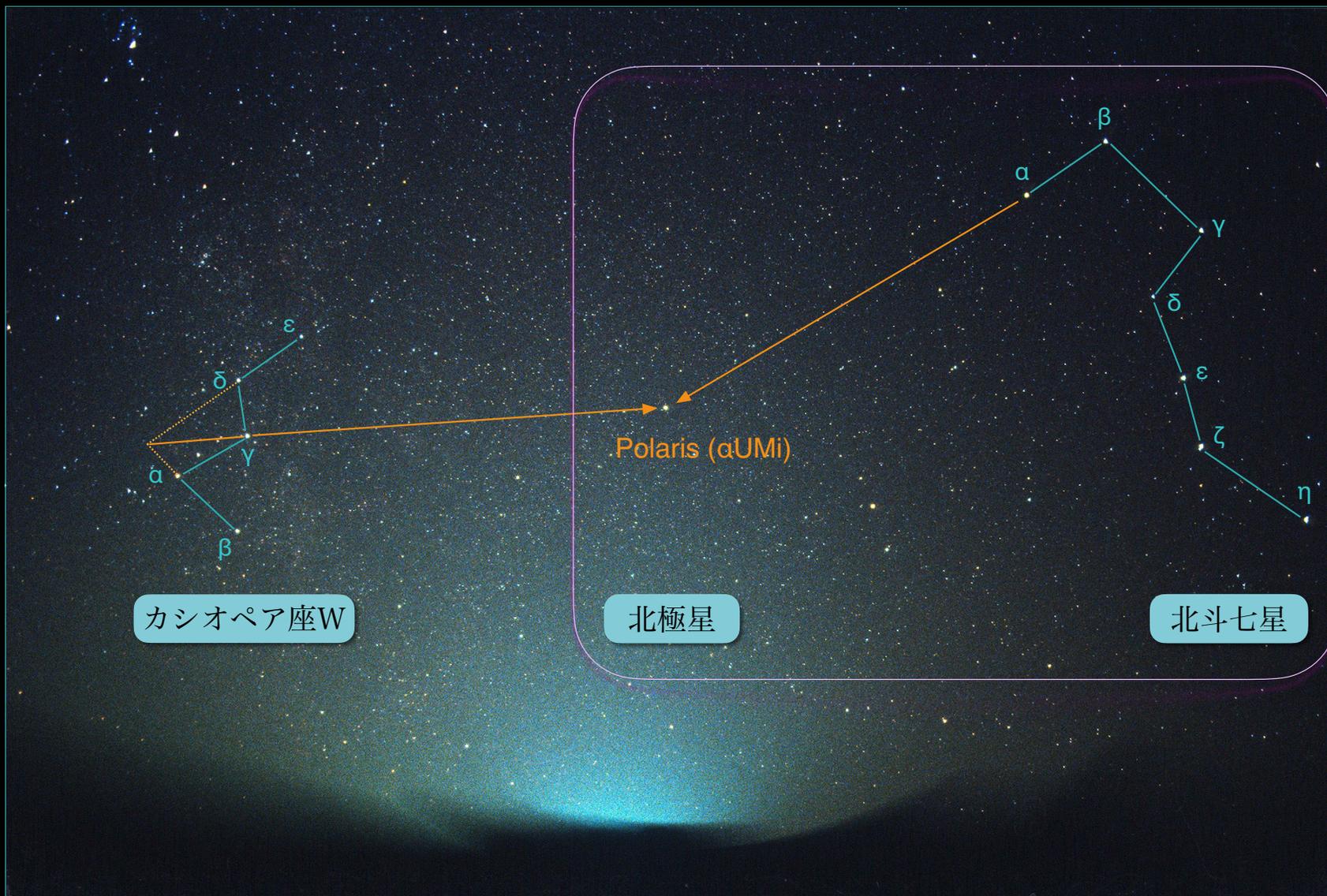
其後(司ノ)并(上)大江(津)申(上)リ(第)七(巻)
 塩(巻)ニ(ア)リ(テ)取(カ)ヨ(ラ)シ(テ)ア(ラ)ス(ニ)時(以)テ(箱)取(取)ト(モ)
 只(一)人(シ)テ(ア)リ(テ)其(皆)得(お)シ(テ)以(時)皇(后)多(ク)弗(敷)也
 思(食)テ(リ)豊(初)國(ノ)丁(キ)以(木)ヲ(切)テ(宗)佐(部)取(取)也
 十(八)艘(送)即(麻)鴻(ニ)乘(取)軍(兵)二(千)百(七)十(五)人
 大(守)軍(ハ)主(吉)再(高)良(大)臣(梶)取(ハ)麻(治)大(的)神(也)

牛(一)ト(申)セ(ル)云(云)牛(其)海(中)ニ(ア)リ(テ)成(リ)シ(家)
 其(ヨ)リ(テ)牛(皇)后(ノ)老(人)實(ニ)馬(ノ)物(ト)思(食)テ(也)
 云(云)牛(何)牛(ニ)云(云)何(何)作(作)云(云)



八幡縁起絵巻(上巻部分) 筆者不明 元亨二年(1322)奥書
 The Origin of the Usa Hachiman Shrine. Artist unknown.
 Dated 1322. Ink and colours on paper. 29.4×528.1cm.

北天の星ぼし



蛇より行事 妙見尊 (東京都稲城市)

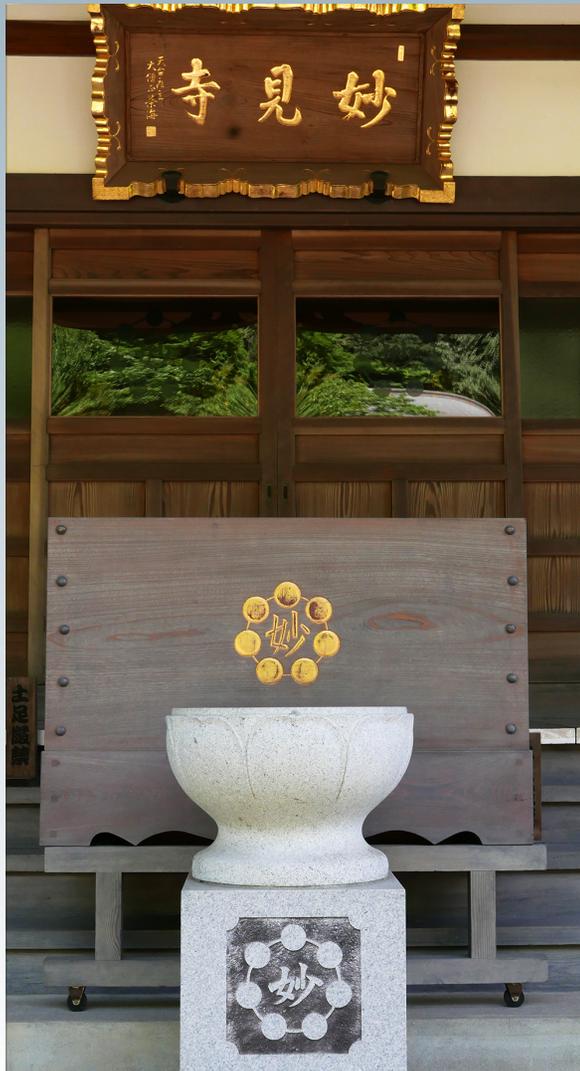
妙見信仰

[妙見寺 本堂]

神王山観音院妙見寺 (天台宗)

文政5年(1822年)に妙見寺が刊行した『北辰妙見尊略縁記』には、この行事について以下のように記されている。

「寛文二年の春、諸国に疫病が流行した折、妙見宮の神木に大注連を張って北辰四天を祭り、また茅で三百間に及ぶ大蛇の如き大綱をつくって郷境の道の傍に置き、村内への疫病侵入を防いだことに始まり、一時中止の時期もあったが再開後は毎年茅の大蛇をつくって疫病を防ぐ祈願を行った。」



[妙見山の参道]

山頂に妙見宮が鎮座



[妙見宮の鬼板]

七星(曜)紋を四三に分けて、拝殿正面側と裏の北側で色を変えたデザインがユニーク。





蛇より行事 妙見尊 (東京都稲城市)

妙見信仰



海を渡ってきた星の神 妙見菩薩

相馬妙見 歓喜寺

『河内名所図会』河内国石川郡春日村 妙見



現・曹洞宗 妙見寺



★相馬 14C 末

★引間

8C 末

★能勢

★秩父

6C 末

★大内

★河内

★千葉

★八代

10C 末

千葉神社拝殿扁額 (三星紋と妙見)



秩父神社の扁額



能勢妙見山信徒会館『星嶺』



“星降る町、下松”



氷上山興隆寺 (山口) 大内氏の氏寺

八代神社の神宝・四寅剣 (八代)



妙見寺と妙見社 (高崎市引間町)



妙見信仰

主な妙見宮分布図

- * 1. 八代神社 (妙見宮) (熊本 八代市)
- 2. 足立山妙見宮 (福岡 北九州市)
- 3. 入覚寺妙見宮 (大分 宇佐市)
- 4. 氷上妙見社 (山口 山口市)
- 5. 鹿野妙見祠 (鳥取 鹿野町)
- 6. 安芸妙見社 (高知 安芸市)
- 7. 鳴門妙見神社 (徳島 鳴門市)
- 8. 但馬妙見宮 (兵庫 養父市)
- * 9. 能勢妙見堂 (大阪 能勢町)
- * 10. 星田妙見宮 (大阪 交野市)
- 11. 中之島妙見堂 (和歌山 中の島)
- 12. 岡崎妙見堂 (三重 伊勢市)
- 13. 大宅妙見寺 (京都 山科区)
- 14. 内津妙見寺 (愛知 春日井市)
- * 15. 秩父神社 (埼玉 秩父市)
- * 16. 柳島妙見堂 (東京 墨田区)
- * 17. 千葉神社 (千葉 千葉市)
- 18. 六日市妙見社 (新潟 長岡市)
- * 19. 相馬中村神社 (福島 相馬市)
- 20. 東沢妙見院 (山形 山形市)
- 21. 日高神社 (岩手 奥州市)
- 22. 大星神社 (妙見堂) (青森 青森市)
- 23. 妙龍寺妙見堂 (北海道 小樽市)

* 住民の信仰が盛んで、活動も活発な寺社

『八代学への招待』(全国地名シンポジウム八代大会実行委員会 発行 1991) 掲載図を参考に修正作成



* 15



* 16



* 17



* 19



* 1



* 4



* 9

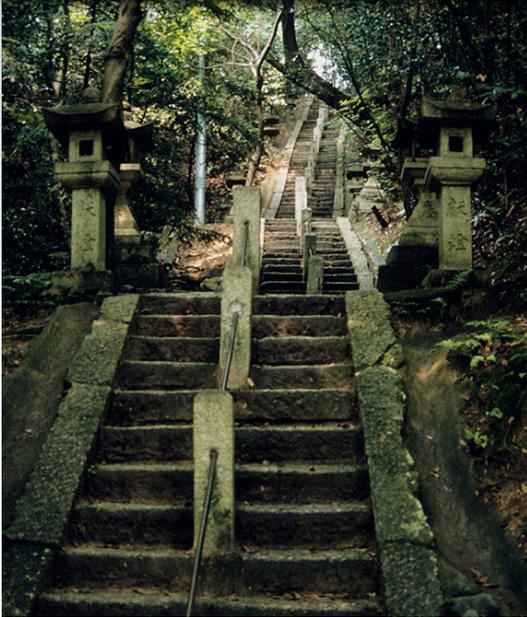


* 10 降星山光林寺
妙見石 (交野市)

星のまち☆かたの



機物神社（大阪府交野市）七夕祭
提供：交野市役所社会教育課



降星山光林寺の妙見石（三所降臨の内の一所）
（ただし今見ると、吉田光邦著『星の宗教』掲載写真の石と違うような？）

妙見信仰

妙見の神祠、妙見山にあり。
 神体は巨石三個、鼎の如くそばだちて、岡の如し。
 織女とも妙見石とも呼ぶ。

『河内名所図絵』 秋里 籬島

妙見山 明星村の東にあり...
 妙見神祠 妙見山ふあり...
 住吉神祠 例祭九月十五日...
 星田寺 社頭ふあり...
 八幡宮 石清水新宮と稱...
 星田尊蹟 河内志日星田村莊甲の宮後...
 星石 三ヶ所ふあり...
 崇盆女故趾 疲登村ふあり...

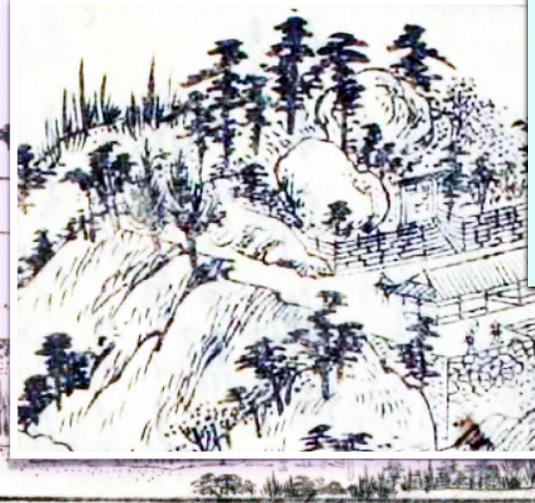


(好日山荘 登山レポートHPから)

星田 妙見



拝殿の向こう、瑞垣に囲まれて巨大な岩石が二個、
 壮大な量感をもってならぶのがみえる。
 これが北辰尊星王の降臨されたと伝える聖蹟なのだ。
 ∴日本の伝統的な巨石信仰の典型であろう。
 吉田光邦『星の宗教』(昭和45)



伊勢の妙見信仰

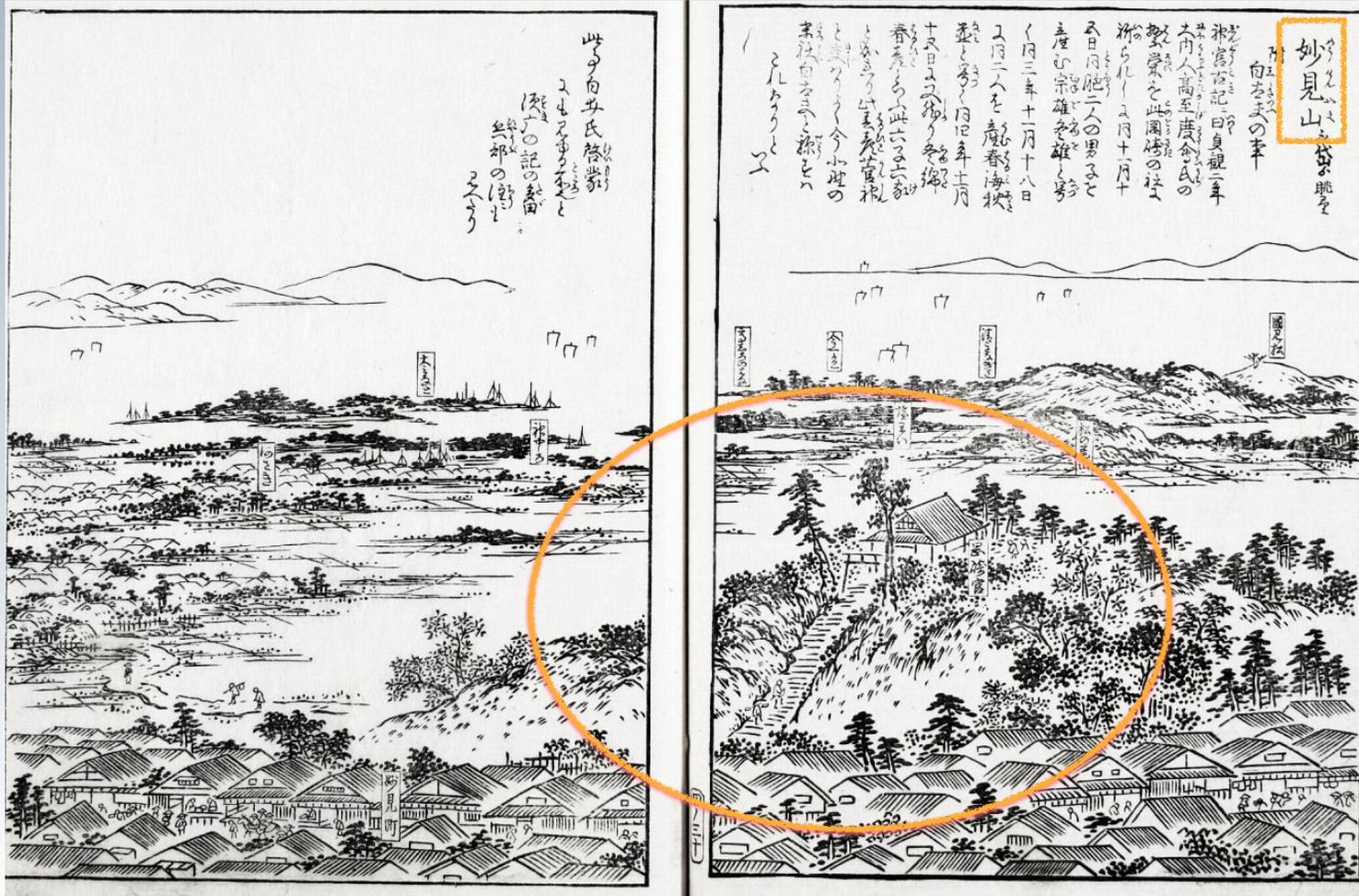
伊勢神宮の神官度会高主わたらい たかぬしの一人娘で権禰宜みやりょうの宮子みやこ（十五歳）が、増水した勢田川で溺死したが、遺体は見つからず、川底から童形わらわがたの木像きざねがあがった。

高主はこれを尾部御陵おしりのみらに奉安して、度会一族の繁栄を祈った。すると、男子の双子三組が三年続けて誕生した。

末子の春彦が妙見神の託宣たくせんによって山宮祭やまみやまつり（北辰信仰）を執り行つて以来、伊勢の妙見信仰が始まったのである。

しかし明治に入つてすぐ、廃仏毀釈の暴挙によって常明寺妙見堂は破壊され、かろうじて残つた本尊の妙見菩薩像も、その後数奇な運命を辿ることとなる。

伊勢妙見顕彰会事務局 作成資料を参照

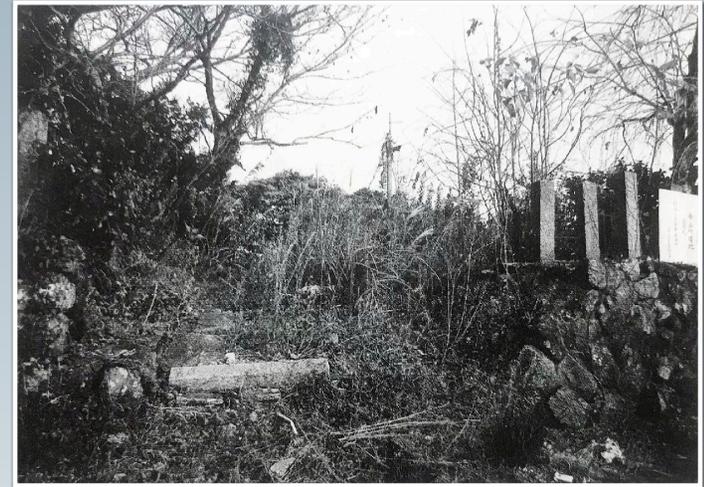


『伊勢参宮名所図会』寛政九年（一七九七）

伊勢の妙見信仰



木造妙見菩薩立像 (伊勢 常明寺伝来 現・K.K よみうりランド 所蔵)



伊勢妙見堂跡地 (1992年11月 伊勢妙見顕彰会事務局)



再建された伊勢妙見堂「浄徳庵」(写真下)と眼下に見下ろす伊勢街道(中央上)

達磨寺とブルーノ・タウト



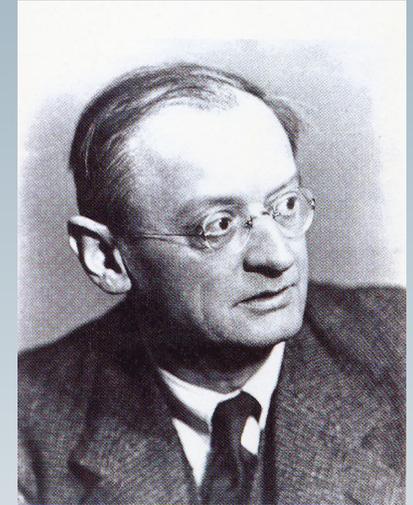
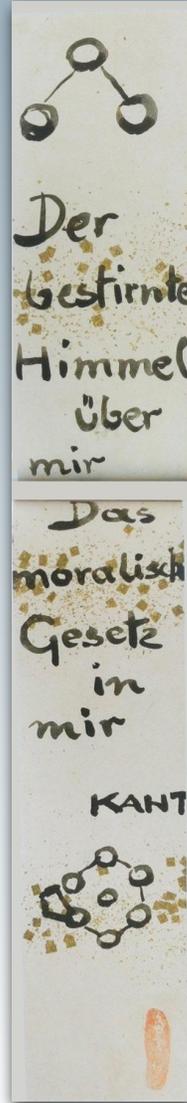
黄檗宗少林山達磨寺 山門



達磨寺霊符堂 (本尊：北辰鎮宅靈符尊)



北斗瓦 (タウト夫妻の居室だった洗心亭床下)



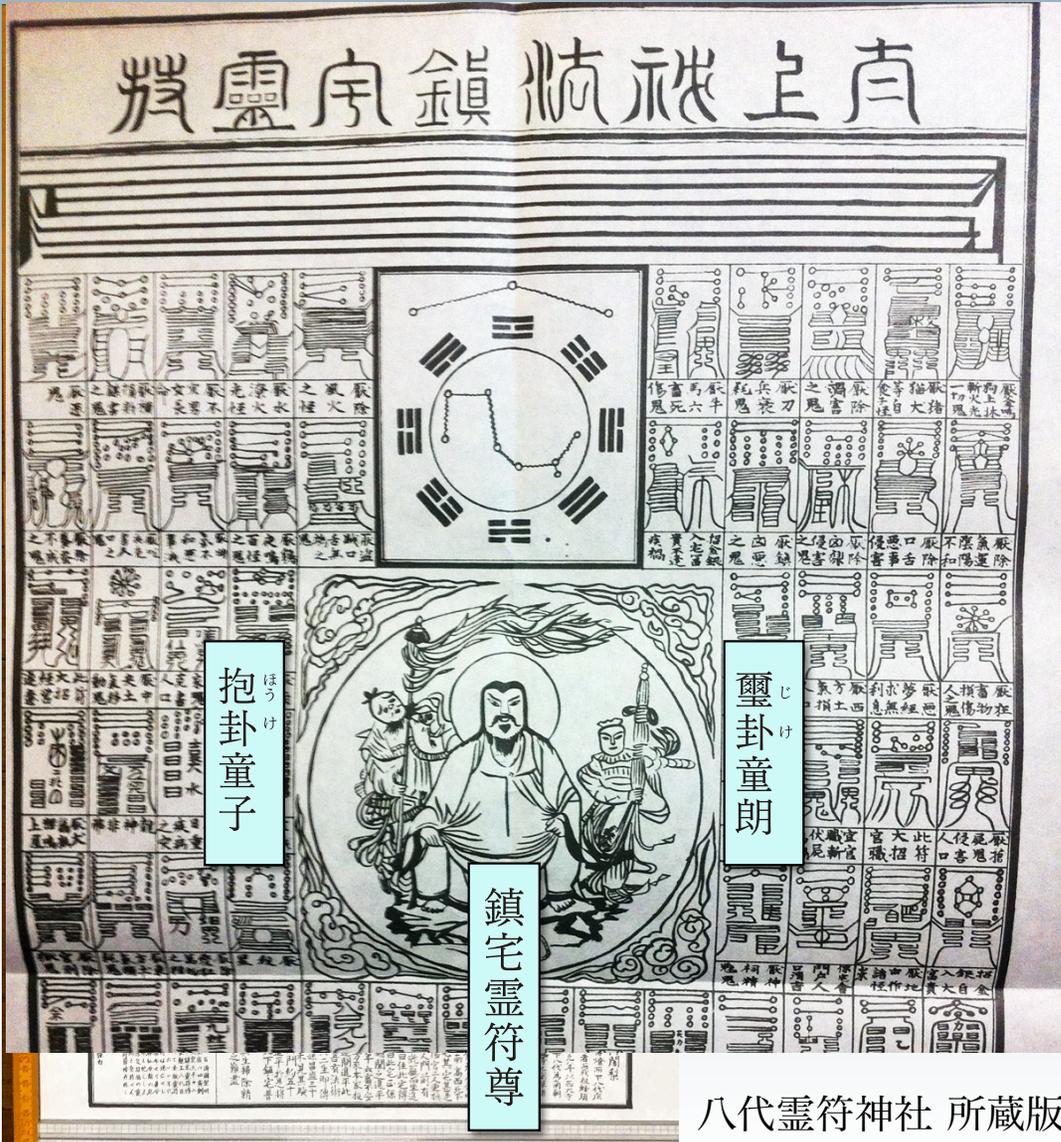
ブルーノ・タウト (1880-1938)

感嘆と畏敬の念をもって我が心を満たす二つのもの…)
頭上に輝ける星と我が内なる道徳律。

Der bestirnte Himmel über mir,
und das moralische Gesetz in mir.

カント 『実践理性批判』 (1788)

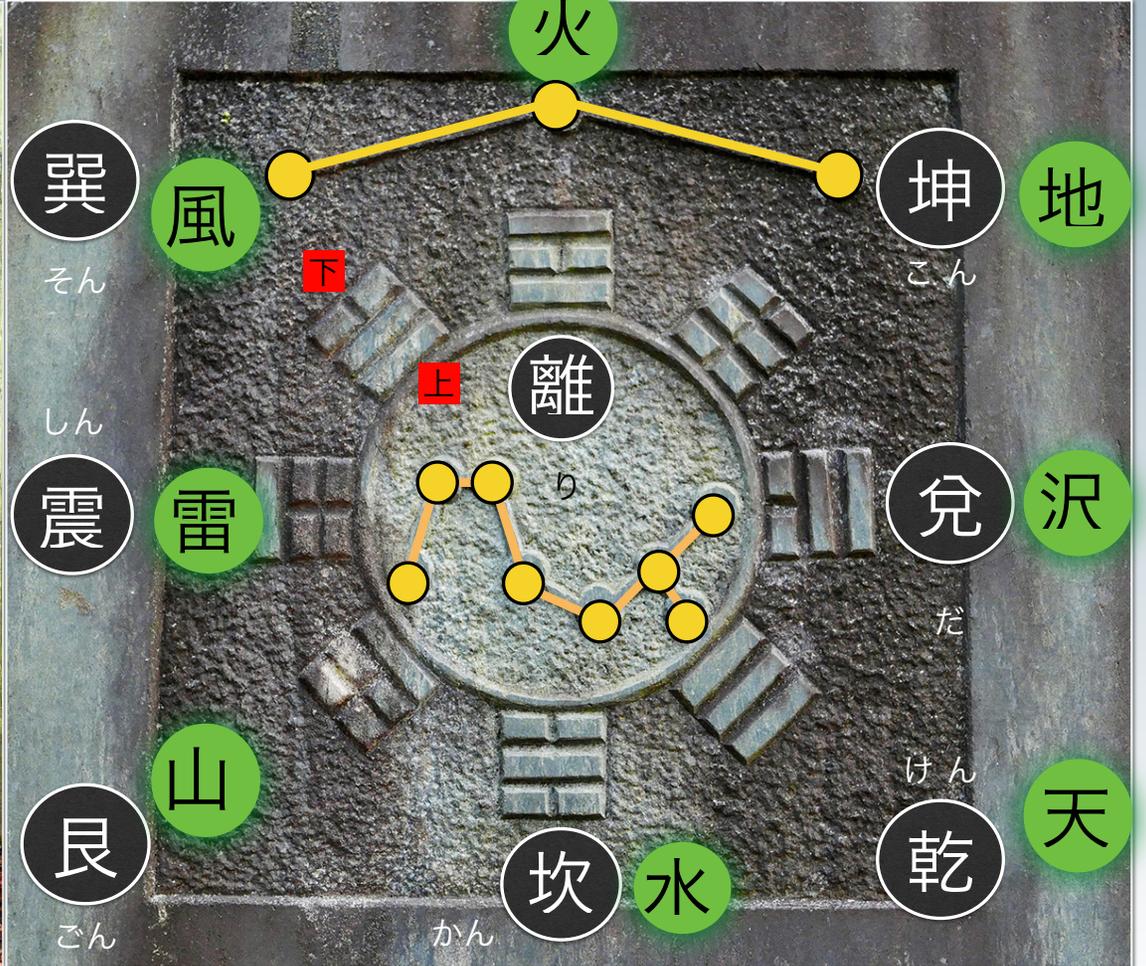
太上神仙鎮宅靈符



鎮宅靈符神社の護符 (奈良)

八代靈符神社 所蔵版木

鎮宅靈符尊石塔（伊香）



北斗の星～輔星と弼星



Aladin Desktop & Aladin Lite by the Centre de Données astronomiques de Strasbourg.

北斗九星図 (滋賀 宝巖寺蔵)

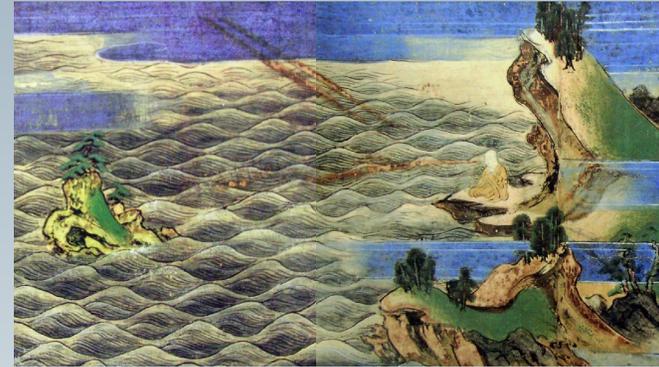
虚空蔵信仰～星と金属と水



金星（明けの明星・啓明）



空海『御遺告』(835)



空海、室戸岬で虚空蔵求聞持法を修得



空海、高野山で出会った狩場明神に導かれ丹生都比売から神領を借り受けて金剛峯寺を開く。

金生山 明星輪寺

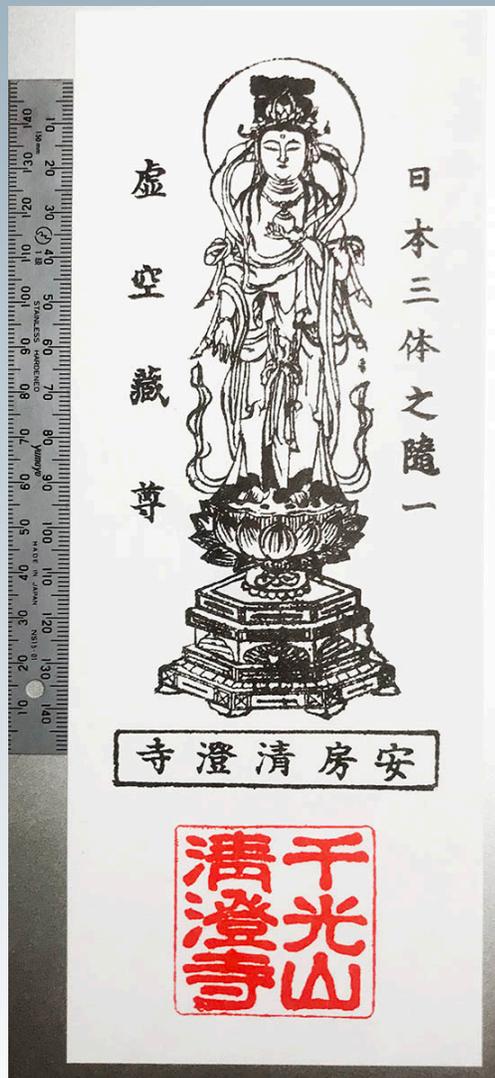
岐阜県大垣市赤坂町



本殿は岩体の中にあり、本尊の虚空蔵菩薩像は岩をくり貫いた小部屋に安置されている



妙見大祭の幟旗



虚空蔵尊のお札

千光山清澄寺

千葉県鴨川市

1200年ほど昔、“不思議法師”という僧侶が千光を発する柏の木で虚空蔵菩薩の仏像を彫ったとき、星の影を宿す井戸を授かったという。1253年、日蓮が清澄山の山頂で立教開宗。1949年日蓮宗の大本山のひとつとなる。



明星の井戸

主な虚空蔵寺院

名称	住所	記載文献	コメント	祭神 本尊
宝性院（柳津福智満虚空蔵尊）	宮城県登米市津山町柳津字大柳津			虚空蔵菩薩
霊巖山 円蔵寺（柳津福満虚空蔵尊）	福島県河沼郡柳津町大字柳津字寺家町甲	*1	銀、銅	虚空蔵菩薩
伊須流岐比古神社（石動山 天平寺）	石川県鹿島郡中能登町石動山	*3		伊須流岐比古神（虚空蔵菩薩） 白山比咩神（十一面観音）
明星山不動院 光徳寺	栃木県宇都宮市築瀬	*1		虚空蔵菩薩
福応山成蓮院 円満寺	群馬県桐生市西久方町	*1		虚空蔵菩薩（脇侍）妙見菩薩
慈覚山慈星院 清月寺	埼玉県川口市芝	*1		虚空蔵菩薩
村松山 虚空蔵堂	茨城県那珂郡東海村村松	*1		虚空蔵菩薩
五大山明星院 興願寺	埼玉県桶川市倉田	*1		虚空蔵菩薩
星谷山明星院 真浄寺	東京都青梅市谷野	*1		虚空蔵菩薩
妙法山持賣院 星谷寺	神奈川県座間市入谷	*1	しょうこくじ 星の井戸	虚空蔵菩薩
金生山 明星輪寺	岐阜県大垣市赤坂町	*1 *2	金、銀、銅、水銀	虚空蔵菩薩
高賀（こうか）神社・蓮華峯寺	岐阜県関市洞戸高賀 岐阜県関市洞戸高賀	*2	銅 高賀山信仰6社の一つ	虚空蔵菩薩（蓮華峯寺）
智福山 法輪寺	京都府京都市西京区嵐山虚空蔵山町	*1		虚空蔵菩薩
虚空蔵山 弘仁寺	奈良県奈良市虚空蔵町	*3	明星菩薩立像あり	虚空蔵菩薩
勝峰山兜率院 金剛證寺	三重県伊勢市朝熊町	*2	鉄、銅	虚空蔵菩薩
舎心山常住院 太龍寺	徳島県阿南市加茂町龍山	*2	水銀	虚空蔵菩薩
室戸山明星院 最御崎（ほつみさき）寺	高知県室戸市室戸岬町	*1 *2	金、銀	虚空蔵菩薩

*1 佐野賢治『虚空蔵信仰』（雄山閣出版）

*2 若尾五雄「鉱山と信仰」（佐野賢治 編『星の信仰』所収）、『黄金と百足』（人文書院）

*3 佐野賢治『修験道と虚空蔵信仰』（泉 武夫『日本の美術 No.380 虚空蔵菩薩像』所収）

星の井戸

【星の井戸一覧】

井戸の名称	関連寺社		所在地	tel.	備考
明星の井戸	明星院（五大山 興願寺）	真言宗智山派	埼玉県桶川市倉田148	048-728-0351	“明星の井戸”天女の糸が井戸に垂れる。あるいは井戸から明星が飛び出す
星井戸（星降り井戸）	明星山 妙純寺	日蓮宗	神奈川県厚木市金田295	046-221-5059	“星降り井戸”がある
星の井（星月夜の井）	虚空蔵堂（明鏡山円満院 星井寺）		神奈川県鎌倉市坂ノ下18-28		行脚中に立ち寄った行基、明星の輝きが見えるとき覗いたところ虚空蔵菩薩の姿を拝したため、虚空蔵菩薩を刻み、堂を建て安置した。月影の井（印西市）、日の井（二本松市）と共に 日本三名井とも言われる。“三光”の井でもある。白昼、井の中に星影見ゆ、井の中に明星石ありこれを寺宝とする。
星の井戸	妙法山 星谷寺	真言宗大覚寺派	神奈川県座間市 入谷3丁目3583-1	046-251-2266	昼でも星が見える
星の井戸	千光山 清澄寺	日蓮宗大本山	千葉県鴨川市清澄322-1	04-7094-0525	星の井戸（現在は廃屋で一般見学コースに記載なし）
星降りの井戸	大丞山 妙宣寺	日蓮宗	千葉県山武市壺谷1396	0475-89-1282	日親上人
明星井（あけぼののい）	安養寺		三重県多気郡明和町上野		日本三霊泉（山城の直井、息栖神社の忍潮井おしおい）の一つ
妙見七ツ井戸	秩父神社	秩父妙見縁起	埼玉県秩父市		弘法水伝説、および柳の精が清水の場所を教えたとする民話
* 嵯峨落星井（明星井戸、葛井）	智福山 法輪寺	真言宗五智教団	京都府京都市西京区嵐山虚空蔵山町	075-862-0013	空海の弟子道昌、葛井寺にて虚空蔵求聞持法を修し、井戸に明星降臨。虚空蔵菩薩を安置し法輪寺と号す。
* 長岡明星水			（明星水跡）京都府長岡京市開田1丁目12-9		洛西乙訓郡乙訓寺と長岡天神と間 弘法井 大正の頃流行る（明星水跡の説明板あり）
* 黒谷明星水（天人影向の井、明星井めいせい）	栄撰院（えいしょういん）	浄土宗	京都府京都市左京区黒谷町33	075-771-3832	金戒光明寺の撰頭栄撰院の敷地奥にあり。井戸の湧水に明星が降臨し菩薩が顕現
* 吉田明星水			京都府京都市左京区吉田神楽岡町30番地		埋めた（京都民俗誌） 左京区吉田神社の橋の東（斎場所大元宮の東南）に明星が降臨し明星水が湧く。（「京都民俗誌」「吉田神社志」）明星院もあった
* 大宮頭落星水			京都府京都市北区紫野雲林院町		上京区西陣大宮頭 今宮神社御旅所の西、若宮神社の井戸に星降り

* 『改訂 京都民俗誌』井上頼寿著（東洋文庫）

京の名水——都人が好んだ名水(Web版) <http://www.meisyozue.net/home/meisui>

日本神話の明星

甕星（香香背男）II 金星説

厳き光を、月に見成るなるをも思ひ合すべし。
 然ばかり輝く星は、太白星をおきて何かあらむ。
 然れば甕星と云ふは、大白、長庚にて、香香背男
 は、その星神なること疑ひ有るまじく所思ゆ。

平田篤胤『古史傳二十四卷』（一九三三）内外書籍

明

星

第九號

（明治參拾參年十二月十二日發行）



文藝の迫害に關し、余の
 態度を明かにして、末松
 博士に質し、併せて讀者
 諸君に訴ふ。

『明星』主筆 與謝野鐵幹



特別刊行 新年號

定価

五圓

ミルトン『失樂園』（1667）挿画：ドレ Doré



星宮社 名古屋市南区本星崎町

甕星 香香背男の伝説

茨城県日立市

大甕神社本殿



石名坂

巨石と化した香香背男が
ここで武葉槌命によって
蹴り上げられ砕け散った
とされる。



おんね磯（岩）

（波立っている場所）
香香背男が砕け散った
とされる場所の一つ。



大甕神社旧鎮座地

巨岩は陸軍によって
撤去された。



星神 甕星香香背男の出自

一にいはいはく、二の神遂に邪神及び草木石の類を誅ひて、皆已に平けぬ。その不服はぬ者は、唯星の神香香背男のみ。故、加倭文神建葉槌命を遺せば服ひぬ。故、二の神天に登ると云ふ。

『日本書紀』卷第二・神代下・本文註
(岩波書店版)

天背男は神代紀に見える叛逆者香香背男であろう。倭文神建葉槌命を遣して征服したとあるが、右は「葛木倭文天羽雷命神。」(三代實録)である。葛城に坐す神で、同地に式社もある。思ふに香香背男は此の神のために葛城より駆逐され、母系の族を頼つて山城愛宕の地に移住したのであらう。

高群逸枝『母系制の研究』(一九三八)厚生閣



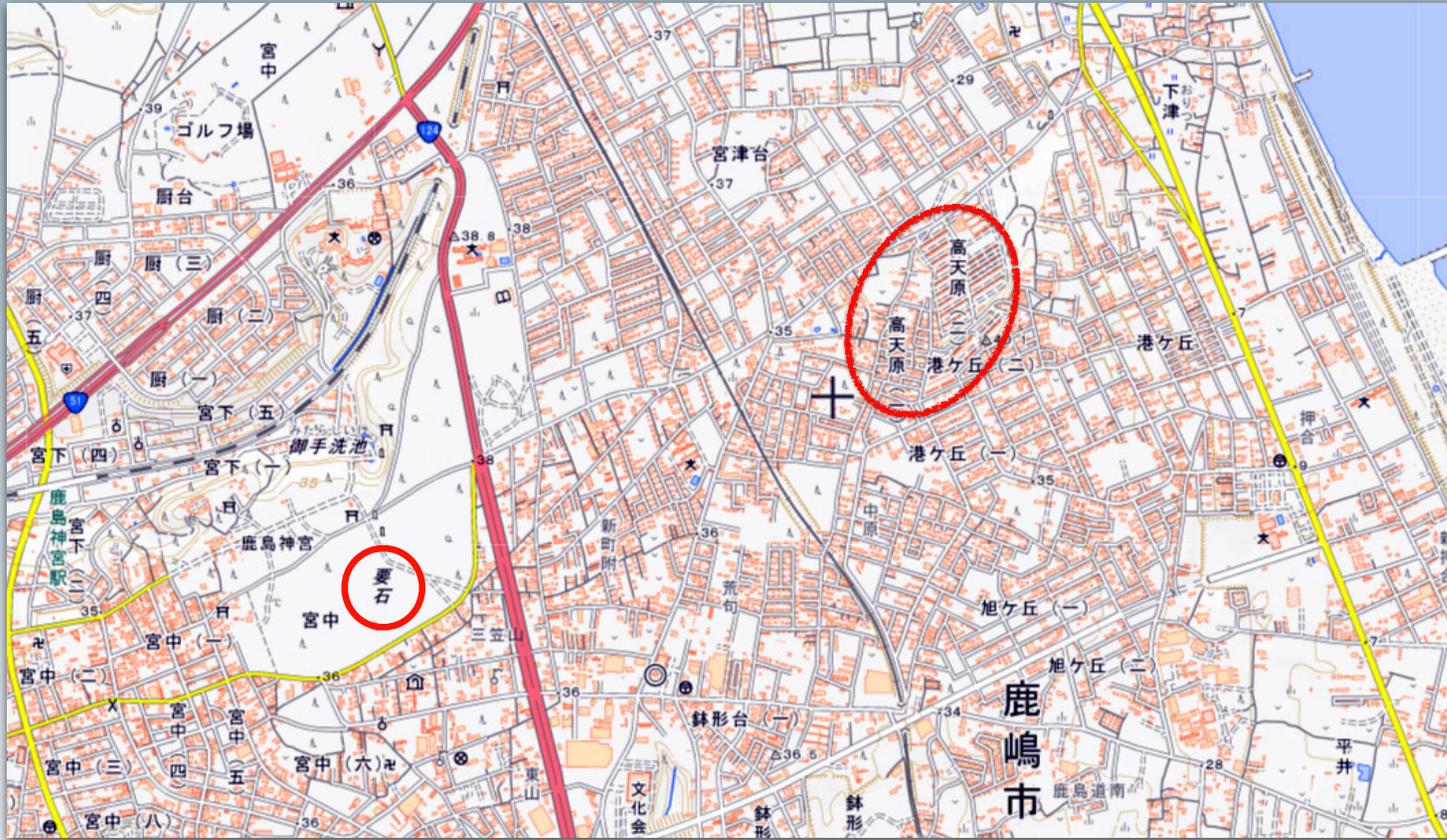
かつらぎしずりにいます あまはいかづちのみこと じんじや
葛木倭文座天羽雷命神社 奈良県葛城市加守

一書に日はく、天神、経津主神・武甕槌神を遺して、葦原中国を平定めしむ。時に二の神日さく、

「天に悪しき神あり。名を天津甕星と日ふ。亦の名は天香香背男。請ふ、先づ此の神を誅ひて、然して後に下りて葦原中国を撥はむ」と號す。是の時に、齋主の神を齋の大人と號す。此の神、今東國の檝取の地に在す。

『日本書紀』卷第二・神代下・天第九段

高天原は何処にある？

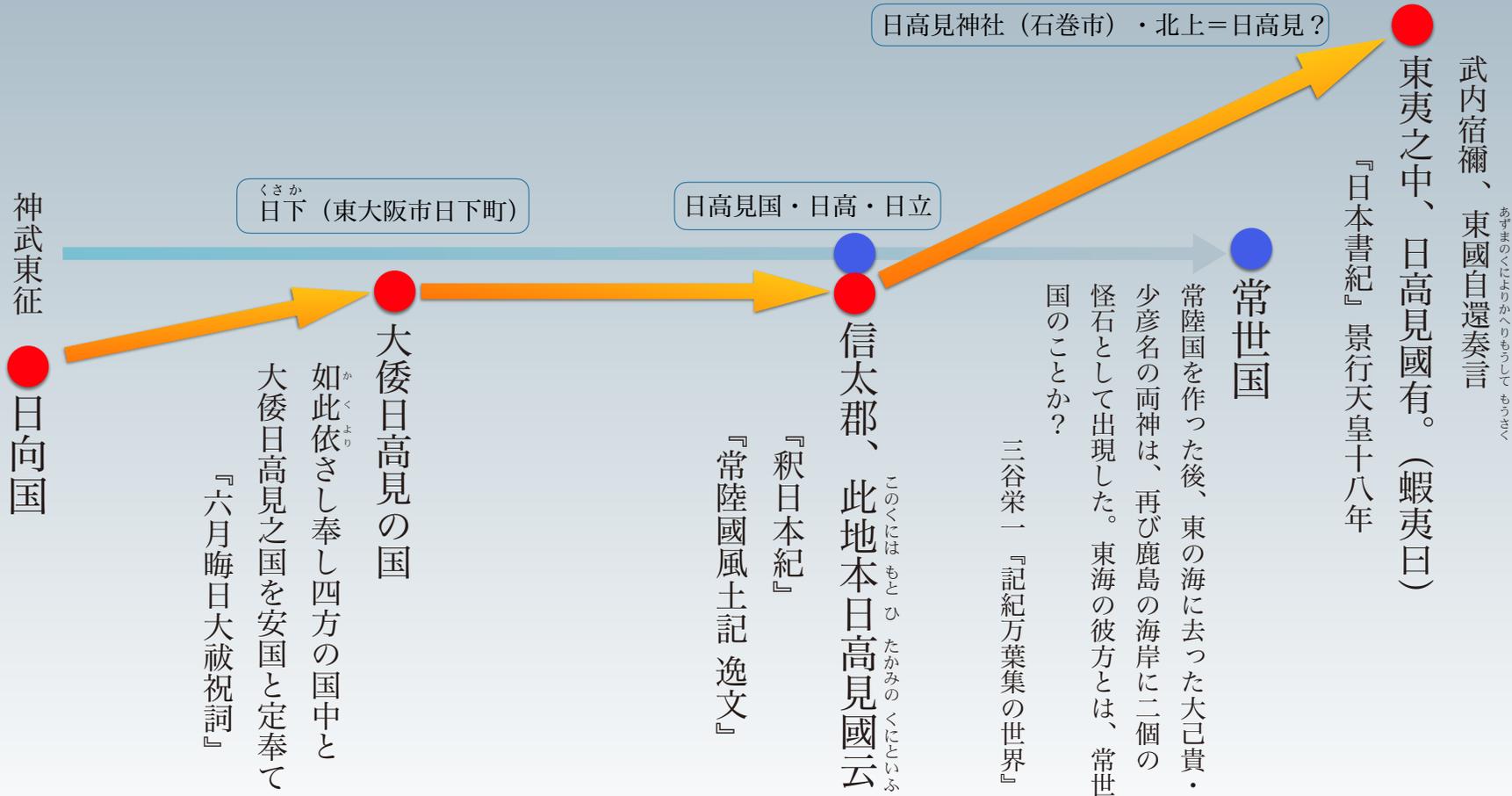


学説としては…満州説や蒙古説があり、徳川時代には大和高市郡にありとする学者も多かったらしい。
多田南嶺が九州の豊前・豊後、新井白石は上図のように常陸国にあったと主張。もちろん、天上説も有力で、平田篤胤、本居宣長がこれを力説した。（鳥居龍蔵『人類学上より見たる我が上代の文化』〈1〉高天ヶ原の位置と其神々より要約。）

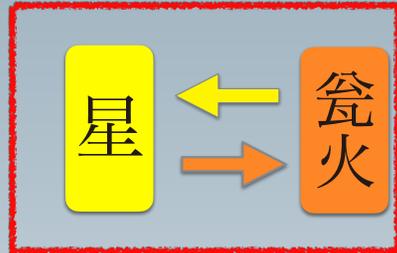
日出ずる国への憧れ

—— 太陽信仰あるいは方位信仰？ ——

日高見国の東遷



萤火



星の起源は火

*カグツチ（迦具土・軻遇突智）神話
イザナキの剣で殺された際、剣と石との
衝撃から生まれた火花や飛び散ったカグツチ
の血が、星となった。（火石？）

*（日本ではないが）**火の起源は星** であるとする神話あり！

- ・二つの星（カストル&ポルクス）が最初に地上の火を作った（タスマニア）
 - ・火は最初、カラス（カノープス星と同一視）がもってきた、etc.
- （フレーザー『火の起源の神話』）



石清水八幡宮 竈神殿

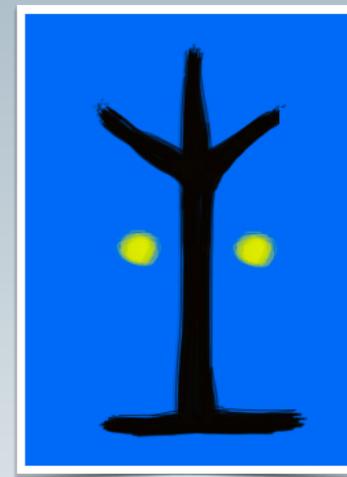
豊葦原の水穂の国は、
 夜は如火瓮す光く神在あり
 昼は五月蠅如す水沸き、

『出雲国造神賀詞』

（葦原中國は）
 螢火光神及蠅聲邪神。
 復有草木威能言語。

人魂・鬼火∥流星・星

明滅する光



『夜桜美人図』 葛飾応為（栄女）

絹本彩色 十九世紀中葉

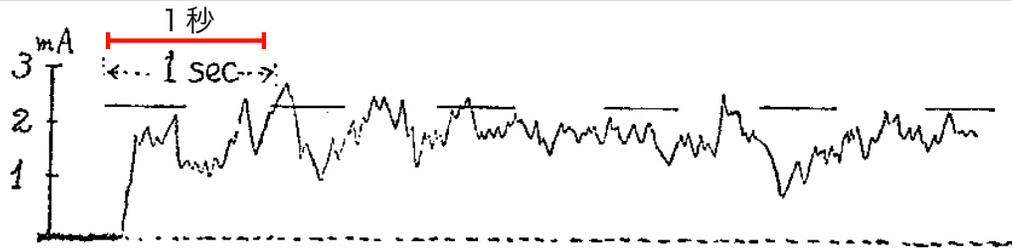
メナード美術館（愛知県小牧市）蔵



『夜桜美人図』 部分拡大



明滅する光の科学～シンチレーション

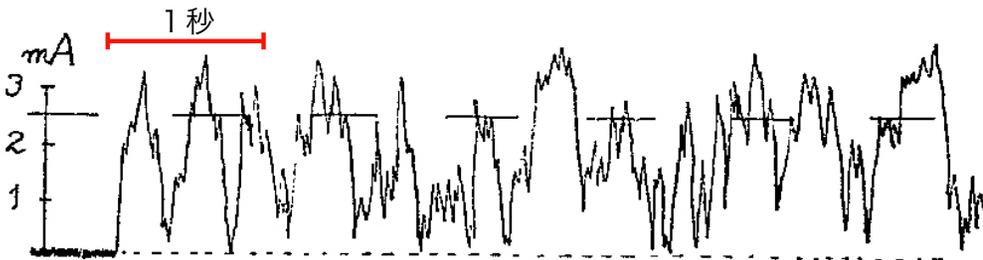


α Aur. (24.6^h 25th Oct 1952)

$h \sim 61^\circ$

ぎょしゃ座 α 星 (カペラ)

地平高度 61°



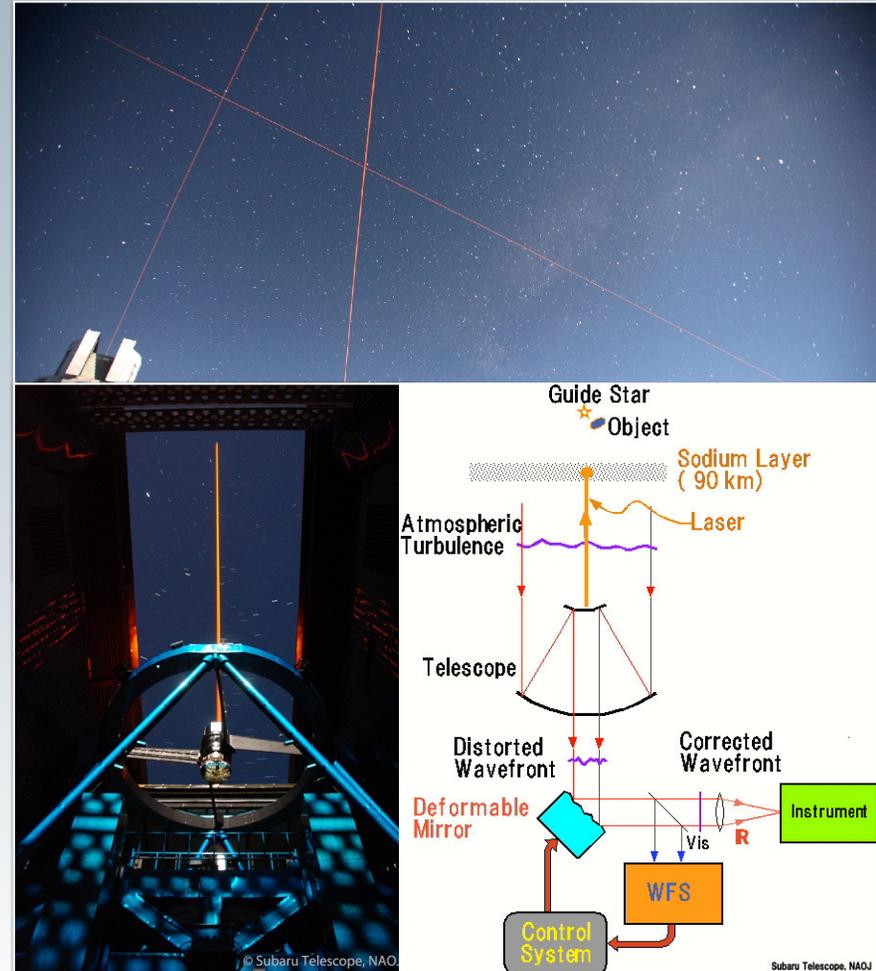
ペガスス座 ϵ 星 ϵ Peg. (24.0^h, 同上)

$h \sim 20^\circ$

地平高度 20°

高度が高いときは光度変動が小さく、変動周期が短い。
 高度が低いと、光度変動幅が大きくゼロになる瞬間もある。周期は緩や
 舛山 昭、豊田耕一 「星のシンチレーションと上層大気の乱流」

日本気象学会創立75周年記念論文集 1957



補償光学技術の発達 (国立天文台・すばるギャラリー)



